

授業構成図

本時のねらい
 メダカの卵の育ち方を理解することができる。
 キャリア教育の視点☆
 自分の考えをわかりやすく相手に伝えている。(コミュニケーション能力)

目指す子どもの姿
S 視点をもってメダカの卵を観察し、その分析を基に育ち方を考えている。
A メダカの卵の育ち方を理解している。

判断
 たまごの育ちの順が正しく並べられていない。
原因
 視点を絞り込んで特徴や変化を見つけ出すことができなかった。
 ←
 個別指導の際、視点をどれか1つに絞り込み、変化を見るように指導する。

見通しや実行方法を発想する
 場面

④メダカの卵の写真を分析して、育ちの順序を考える。
 ◆着目したい視点を選び、それについて分かることを記入するよう助言する。

⑤自分の考えた育ちの順を発表する。☆
 Cぼくは、この順にしました。その理由は、眼がだんだんはつきりとしてきているからです。
 ◆着目した点を明らかにし、掲示物でその点を全員で確認する。

Cわたしは、体全体に着目して、この順にしました。最初ははつきりしなかった体の形がだんだんはつきりしてきているからです。
 ◆指導者が異なる意見を出す。
 ①どうしてこの順ではないのですか。

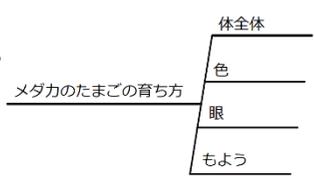
Cぼくは、眼に着目して理由をいいます。この順だと、眼の形がはつきりとして後で、また、眼の形がぼやけてしまいます。成長して一度形ができあがったものがまたはつきりしなくなるのはおかしいと思います。

⑥本時のふり返りをする。
 対象と既有的の知識とを関連づけ、対象が生じる原因を類推

課題を見出す場面

①提示された写真から、何に視点をあてれば育ちの順序が分かるかを考える。
 Tどのような順で育っていかのか、正しい順に並びかえます。どこに着目すればよいですか。

Cわたしは体全体だと思います。
 Cぼくは体の色だと思います。
 Cわたしは、眼に着目すればよいと思います。その理由は、眼の部分の形が違っているからです。

◆子どもが出した視点をくまとチャートに整理する。


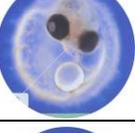
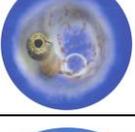
②学習課題をたてる。
 メダカのためごの育ち方を考えよう。

③ルーブリックの設定をする。
 Tこの時間のAとSを設定しましょう。
 Cぼくは、Aは、「メダカの卵の育ち方を正しく並べることができる」にすればいいと思います。

Cわたしは、Sは、「メダカの卵の育ち方の順序を、視点をもとに理由が説明できる」にすればいいと思います。

対象と既有的の知識との「ズレ」を認識

思考スキル「整理する」
 ↓
 思考ツール「マトリックス」

	気づき・分かったこと		順
	受精後数時間		1
	体全体 白いところが少ない	眼 すごくうっすらとしている	2
	体全体 白いところが多くなった	眼 少しそれらしいものがある	3
	体全体 白いところが濃くなった	眼 黒く色がついてきた	4
	体全体 ほとんどが白くなった	眼 はっきりと眼の形がわかる	5
	体全体 白いところだけでなく 黒いところもできた	眼 もっとはっきりして いる	6
	メダカのたんじょう		7